

平成 30 年度まちづくり懇談会 自由意見交換（要旨）

会場	会場からの意見	回答	担当課
豊平	○地震への対応について 現在ハザードマップが作成されているが、町内には筒賀断層があり、地震に対する状況の把握や今後の対応について教えてほしい。	全国的にみて各地で地震が起きている状況ではあるが、町内の場所を指定してこの地域が危ないという情報は得ていない。今後も情報の把握を行い、状況に応じて対応していきたい。	危機管理課
豊平	○林道の整備について 林道で舗装をしていない場所について、これまでの大雨の影響もあり、車の通行が難しい箇所があり改修してもらいたい。	林道の現状として舗装が出来ていない林道が多い状況である。改修については、早急に現場を確認して今後の対応を考えていきたい。	建設課
大朝	○学校整備について 大朝小学校のブランコが壊れており、長期にわたり修理がされていない。教育委員会では状況の把握をしているのか。また、修理の予定はあるのか。	大朝小学校のブランコが壊れている件については把握をしている。町内の学校において、修理等が必要な箇所もあり、あわせて今後修理を行う予定である。	学校教育課
大朝	○その他 今回はテーブルトークの時間を設けて進行していったが、これまでは参加した何人かが発言して、ほとんどの人が意見をいう機会がなかった。グループに分かれ、それぞれが意見を言えたのは良かったと思う。		
千代田	○実施事業の予算について ドミニカホストタウン事業、担い手大学（仮称）事業、まちづくり拠点整備事業に係る予算及び補助金の活用について教えてほしい。	ドミニカホストタウン事業は約 900 万円程度の予算となり、対象経費の 2 分の 1 が国からの補助金を活用する。担い手大学（仮称）事業は、制度設計の段階であり、はっきりとした金額は出ていないが、地方創生交付金を活用して実施していく。 まちづくり拠点整備事業については、建設費は約 10 億円となり、財源については社会資本整備総合交付金を 40% 充て、それ以外は起債を充て実施していく。	生涯学習課 企画課

千代田	<p>○担い手大学（仮称）の事業実施について</p> <p>担い手大学（仮称）事業の組織図では学部の中に管理職が入っており、若い世代から出た斬新な意見がプログラムに取り入れられないのではと感じる。例えば、若くて熱意のある職員が自由に動くなど行い、地域において町民の意見を聞く機会などを通して、地域の担い手として必要な人材について考えていってもらいたい。地域おこし協力隊など外部からの人材を活用も必要と考える。</p>	<p>担い手大学（仮称）の各学部には管理職が3～5名いるが、管理職の意向が優先しないよう努めていきたい。様々な人材の活用という点について、今後、地域おこし協力隊や集落支援員など活用を行い、人材育成は今後のまちづくりの大事な柱となり、担い手育成に取り組んでいきたい。</p>	企画課
千代田	<p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり懇談会について、内容が漠然としており、テーブルトークでは町がテーマを設定してあり、行政主導ではなく町民の声をもっと反映されるようにしてほしい。また、参加している人が少なく、顔ぶれが毎回同じような感じであり、情報発信などの工夫が必要と感じる。 ・テーブルトークについては、世代で分けるなどした方が良いと感じる。 ・アンケート用紙を準備してほしい。 ・気軽に町政等に対して意見ができるようにしてほしい。 ・町内で遊んで、町内でお金を消費して子育てをしたいが、それができない現状に危機感を感じる。 ・ネウボラ事業を実施しているが子育て支援センターと何が違うのかわからない。例えば、元気体操などをポイント制にするなど参加しやすい行事を実施して孤立しない環境を整えてもらいたい。 ・まちづくり拠点施設のワークショップについて開催が千代田のみであり、全町で行って欲しかった。 	<p>まちづくり懇談会については、これまで参加者が少ないという現状もあり、今回はこれまでのやり方を残しつつ、少し手法を変えて行った。いただいた意見を参考にして来年度以降の開催につなげていきたい。</p>	